

臨床実践の現象学会研究会特別企画



日時：5月7日（土）

13：00～17：00

場所：GoogleMeetで開催・出入り自由

参加費：500円(定例会と同様)

(事前申し込み：先着130名まで)

登録フォーム

<https://forms.gle/1eRrG2zZrVGgmEV8A>

本企画について



ベナー／ルーベル『現象学的人間論と看護』に見られるように、ハイデガー現象学がケアの現象学的研究に寄与する可能性をもつことは明らかである。しかしハイデガーの主著『存在と時間』のテキストを具体的にどう読めば、ケアの現象学に資するかは先行研究では必ずしも十分に明らかになってはいない。そこで榊原は、ケアの現象学のさらなる展開に向けて、『存在と時間』における道具への気遣いと（とりわけ）他者への気遣いの分析に新たな光を当て、読み筋を示す。西村は、榊原によるハイデガーの分析を手がかりに、急性期病院で働く病棟師長が、勤務前から病棟を展望する実践の分析を試みる。併せて、その実践へとアクセスする〈フィールドワーク〉において、何が行われているのかを提案する。

司会：村上靖彦【大阪大学】

榊原哲也【東京女子大学】× 西村ユミ【東京都立大学】

連絡先：info@clinical-phenomenology.com

